

# 牛久：学校周辺に見る自然

第17号 ひたち野みずべ公園（ひたち野うしく小）

2021年9月18日発行

## ＜ 夏のみずべ公園 ～花に来る虫たち ＞

みなさん、こんにちは。ひたち野うしく小みずべ公園、夏の<sup>かんさつ</sup>観察は天候<sup>てんこう</sup>の関係で出来ませんでしたので、どうするか迷いましたが、私が6/28と7/15に歩いて<sup>うつ</sup>写してきた写真<sup>しゃしん</sup>で紹介<sup>しょうかい</sup>することにします。名前<sup>の</sup>だけ載<sup>の</sup>せますので、どんな生き物なのか自分で調べ学習し、春や初夏<sup>ちが</sup>との違い<sup>かくにん</sup>も確認<sup>かくにん</sup>しましょう。

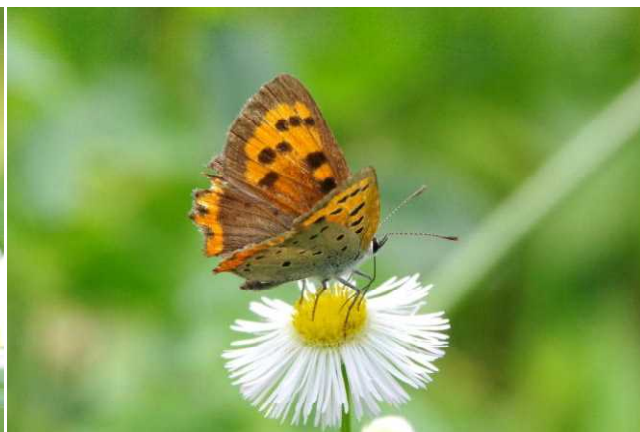
まずは、花に来ていた虫たちから。シロツメクサは少なくなり、かわってムラサキツメクサが多くなりました。シロツメクサやムラサキツメクサの花には、蜜<sup>みつ</sup>を吸いにセイヨウミツバチ、トラマルハナバチなどのハナバチや、キタキチョウやツバメシジミなどのチョウ<sup>おとず</sup>が訪<sup>おとず</sup>れていました。その他、コアオハナムグリ<sup>かふん</sup>が花粉<sup>かふん</sup>やみつをなめていたり、花を食べてしまうマメコガネも見られました。



ムラサキツメクサの蜜<sup>みつ</sup>を吸うセイヨウミツバチ（左上）とトラマルハナバチ（右上）、キタキチョウ（左中）、花粉<sup>かふん</sup>をなめるコアオハナムグリ（右中）、花を食べるマメコガネ（左下）。シロツメクサの蜜<sup>みつ</sup>を吸うツバメシジミ（右下）。



よく似たキク科のなかまでは、ヒメジョオンが多くなり、ハルジオンはほとんど見られなくなりました。ベニシジミなどのチョウや、小さなハナバチが訪れていました。



ヒメジョオンの蜜を吸うベニシジミ（左）ハルジオンの蜜を吸うベニシジミ（右）。

学校の周りにも街路樹として植えられているナンキンハゼには、セイヨウミツバチやキンケハラナガツチバチなどのハチや、ツマグロキンバエなどのハエ、ハナアブの仲間などが訪れていました。



ナンキンハゼの蜜を吸うセイヨウミツバチと蜜や花粉をなめるツマグロキンバエ（左）。  
蜜を吸うキンケハラナガツチバチ（右）。

その他、ヤブガラシにはヒメスズメバチやハラナガツチバチの仲間が蜜を吸いに、ヤマハギには、アオドウガネが花を食べに来ていました。



ヤブガラシの蜜を吸うヒメスズメバチ（左）と、ヤマハギの花を食べるアオドウガネ（右）。

【理科支援員：宮内】